## 令和6年度市内河川の環境(上の)基準達成状況

河川名			生活環境項目							特殊項目		本元 1111
			рΗ	DO BOD(75%値)		75%値)	SS	大腸菌数(90%値)		T-N	T-P	類型
北湖流入	*	滝川	0	0	0	(0.7)	0	×	(120)	0	0	AA
	*	比良川	0	0	0	(0.5)	0	×	(130)	0	0	AA
	*	八屋戸川	0	0	0	(0.6)	0	0	(92)	0	0	AA
	*	天川	0	0	0	(0.7)	0	0	(180)	0	0	A
	*	喜撰川	0	0	0	(0.9)	0	×	(530)	0	0	A
		和邇川	0	0	0	(0.9)	0	0	(200)	ı	-	A
	*	真野川	0	0	0	(1.0)	0	0	(190)	0	$\circ$	A
南湖流入		天神川	0	0	0	(0.8)	0	0	(200)	1	-	A
	*	雄琴川	0	0	0	(0.9)	0	0	(150)	0	0	A
	*	大正寺川	10/12	0	0	(1.0)	0	×	(440)	0	0	A
		大宮川	0	0	0	(0.8)	0	0	(160)	ı	-	A
	*	際川	10/12	0	0	(1.1)	0	0	(160)	0	0	A
		柳川	0	0	0	(0.8)	0	×	(340)	ı	-	AA
		吾妻川	11/12	0	0	(0.9)	0	×	(340)	ı	-	AA
		相模川	10/12	0	0	(8.0)	0	×	(140)	-	-	AA
	*	兵田川	5/12	0	0	(1.2)	0	0	(150)	0	0	A
	*	長沢川	0	0	0	(1.0)	0	0	(210)	0	0	A
瀬田川流 . 入	*	盛越川	8/12	0	0	(1.0)	0	0	(180)	0	0	A
	*	三田川	0	0	0	(0.9)	0	0	(200)	0	0	A
	*	多羅川	0	0	0	(0.8)	0	0	(120)	0	0	A
	*	千丈川	0	$\circ$	0	(0.9)	0	0	(130)	0	0	A
		大戸川 上	0	0	0	(0.7)	0	0	(200)	-	-	A
		下	0	0	0	(0.7)	0	0	(130)	-	-	A
		信楽川 上	0	0	0	(0.7)	0	0	(230)	-	-	A
		下	0	0	0	(0.7)	0	0	(170)	-	-	A
	*	大石川	$\circ$	$\circ$	0	(0.9)	0	0	(220)	0	0	A

- 注1 \*は環境上の基準の類型指定河川(市河川)、それ以外は環境基準の類型指定河川(県河川)。
- 注2 生活環境項目のうち、BODについては75%水質値を基準値とし、大腸菌数については90%水質値を基準値とする。それ以外の項目は日間平均値を基準値とする。 (75%(90%)水質値:測定されたデータN個を数値の小さい順に並べた際にN×0.75(0.90)番目に位置する値) 達成状況欄の数字は全測定回数のうち達成した回数を示し、○は全て達成、×は全て未達成を示す。
- 注3 特殊項目(市河川のみ)は年間平均値を基準値とする。達成状況欄は年平均値の基準達成状況を示し、○は達成、×は未達成を示す。
- 注4 市河川に係る環境上の基準については大津市環境基本条例に基づき昭和55年に告示するとともに、市内8河川(後に2河川追加)について類型の指定を行いました。 その後、下水道が普及し、人々の生活スタイルが変化するとともに、旧志賀町との合併により大津市域が広がったため、 改めて生物調査や水質調査の結果をもとに基準の見直しを行い、平成28年度より新たな基準で評価を行っています。